

# “令和四年 敬念寺報恩講法要厳修”

～ お念仏が本堂に響く！～



法話の最後に:ご講師の「赤川浄友先生」の  
ピアノ伴奏で歌を(4.11.13)



発行所  
岡谷市郷田一丁目6番3号  
TEL(0266)22-2524  
金松山 敬念寺  
発行  
敬念寺門信徒会  
編集  
会報組織委員会  
朝7時はみ仏さまや  
彼(か)の人との  
出会(であ)いの時間

## 小僧の目

春彼岸が近づくと、徐々に日差しが強くなり、また日中の暖かさを感じて冬から春への季節の移り変わりを知らされます。▼私は、地面が柔らかくなっている感触や、土の匂い、草木の匂いが漂ってくる、「春が近いなあ」と肌でまた嗅覚で季節の変わり目を感じます。▼同時に年度替わりの慌ただしい時期で頂垂れる思いも感じます。▼人それぞれでは有りますが、彩の少ない冬から木々の緑や咲く花々といった、活動的に映る春の季節を楽しみたいものです。▼仏説阿弥陀経に「青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光」とあります。お浄土に咲く花々はそれぞれの色でありそれぞれの光を放っている。その中で色や輝きの違う花とぶつかることなく輝きあい照らしあっている。一つ一つの命がそれぞれのありかたで存在しているという、お浄土の姿を示しています。▼ところが、私たちの世界(娑婆)はお浄土のようにはいきません。それぞれ生き方や在り方によっては、命を奪い合う事もあります。▼ウクライナ・ロシアの戦争は始まってから一年が経ちます。この戦争の目的も行方も見失われつつあります。その中であって何万人の命が失われ、今も増え続けていることを嘆くばかりです。▼一つ一つの命が尊重され、共なる命として生きていける世界を目指さなければいけません。▼直接の行動をするのは難しいことですが、遠い場所の出来事・私とは関係の無いこととするのではなく、間接的でもできること、為すことを思案する。また、一人一人が命の尊さやありがたさを大切に、先ずは身の周りの命を尊ぶ生き方をめざしていかなければならないと思うのです。

釋 宏真

### ご寺院行事

- 5月28日(日) 花まつり(灌仏会)：於敬念寺 後2:00
- 7月下旬 第37回ファミリー参拝 計画中
- 8月 1日(火)～ 第42回早朝連続参拝 計画中
- 8月16日(水) 盂蘭盆法要 前10:00

### ご定例法話会

- 4月20日(木) 講師 三寄靈証先生(福井県)
- 5月20日(土) 講師 清胤弘英先生(広島県)
- 6月20日(火) 講師 結城道哉先生(三重県)
- 7月20日(木) 講師 青木哲隆先生(富山県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

## 新しい「領解文」が示されました—ご門主がご満座に「ご消息」で—(本願寺新報から転載)

御門主は一月十六日報恩講法要ご満座に続いて「ご消息」を發布され新しい「領解文」を示されました。

本年三月には、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」という記念すべきご勝縁をお迎えいたします。このたびの慶讃法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、同じお念仏の道を歩む者同士が、あらためて同信の喜びを分かち合うためのご法要です。また、これを機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思います。

伝道教団を標榜する私たちにとって、眞実信心を正しく、わかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもありませんが、そのためには時代状況や人々の意識に応じた伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかねばなりません。このような願いを含め、令和三年・二〇二一年の立教開宗記念法要において、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、その肝要を「浄土真宗のみ教

え」として示し、ともに唱和していただきたい旨を申し述べました。浄土真宗では連如上人の時代から、ご自身のご法義の受けとめを表出するために『領解文』が用いられてきました。

そこには「信心正因・称名報恩」などのご教義の肝要が、当時の一般の人々にも理解できるよう簡潔に、また平易な言葉で記されており、領解出言の果たす役割は、今日でも決して小さくありません。

しかしながら、時代の推移とともに『領解文』の理解における平易さという面が、徐々に希薄になってきたことも否めません。したがって、これから先、この精神を受け継ぎつつ、念仏者として領解すべきことを正しく、わかりやすい言葉で表現し、またこれを拝読、唱和することでご法義の肝要が正確に伝わるような、いわゆる現代版の「領解文」というべきものが必要になってきます。

そこでこのたび、「浄土真宗のみ教え」に師徳への感謝の念を加え、ここに新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として示します。↓下段に掲載

この新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を僧俗を問わず多くの方々にさまざまな機会で拝読、ご唱和いただき、み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わることを切に願っております。

令和五年一月十六日

龍谷門主 釋 專如

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ、そのまま救う」の 弥陀のよび声  
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ  
「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といた

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

宗祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗主の

尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しづつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます



## 令和四年度活動報告

## 常任委員会

会長 千原 博幸

新型コロナウイルス禍三年目となった令和四年度は、感染予防対策に伴い引き続き寺院・門信徒会の活動に制約を受けたものの、三年越しの懸案となっていた「新任職就任祝賀会」を盛会裏に挙行することが出来、また併せて同時開催を行った門信徒会総会での役員人事改選を経て、新たな役員体制での門信徒会活動がスタートしました。

令和四年度の門信徒会の主な活動としては、①「新任職就任祝賀会」の開催（前任職・前坊守のお二人は健康不調により御臨席が叶わず慰労謝恩の儀は断念）②「門信徒会年次総会」の開催、役員人事改選③教化等各門信徒会活動の推進④寺院で開催される各法要・行事に、感染症予防対策に配慮・工夫を施す中で、の事業協力・奉仕⑤寺院の営繕・保守事業の推進・支援、などを実施して寺院活動に協力しました。

新年度においては、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴い、これまで制約されていた各種門信徒会事業活動の再開と、併せて地区世話人体制の再構築、次世代人材発掘&育成等の寺院重要課題に対する新たな寺院活動始動への協同・

推進が期されるところでです。

## 教化委員会

委員長 新井 滋平

「新型コロナウイルス感染拡大防止施策」に則った活動としました。

このため、残念ながら「ファミリ―参拝」「夏季早朝連続参拝」「親睦研修旅行」は中止いたしました。「報恩講」につきましては、「作品展を縮小」「お斎を中止」しましたが、法要後の「ご法話」は、東京都出身の布教使、赤川浄友さんにご出

仕いただき、「大悲無倦常照我々遇えて良かった」の講題で多くのお笑いを含めてお務め賜りました。本堂には、五十名程のご参拝でした。また、丹精込められた山野草やたくさんの満開の菊花が参拝者を迎えてくださいました。感謝感激です。

令和五年は、本山で「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が厳修されます。残念ながら、当山としての団体参拝は、かないませんでした。新年度は、本山への参拝を含めた「親睦研修旅行」を企画・実施いたしたく存じます。

みなさんがつどい、親しく語り合いい、自他ともに心豊かに生きることの大切さを実感できる機会を、少しでも多く設けるよう模索してまいりたく存じます。みなさんのアイデアをぜひお寄せください。

## 財務委員会—今年も感謝—

委員長 西山 周治

財務委員会は、委員長西山・副委員長西川さん・木下さんの三名と全お世話人様で組織されています。会費徴収・護寺協力金のお願いは基本としてお世話人様にご苦勞頂き門徒の皆様にお願いをしております。

今年度も皆様のご理解とご協力のお蔭を持ちまして、予算を上回る会費・護寺協力金をお寄せ頂くことができました。感謝申し上げます。三月末日をもって、令和四年度の会計も締めとなります。

今年も、会費は？護寺協力金は？と思いながら、お役を務めてまいりました。何とかお金も足りたし、良かった！よかった！と毎日がドキドキでした！

会費納入が年毎に減少していく事に不安を感じております。ご門徒様の高齢化・お念仏相続の難しさが表れて来ているのか？と気になる所です。コロナ禍の対応も緩和され、お寺の行事も復活し始めます。令和五年度もよろしくお支え頂きたくお願い申し上げます。

## 婦人部

部長 前田 悦子

婦人部部長の役を賜り望月前部長さんにお寺の行事、婦人部の役割と活動、門信徒さんへの接し方等教えていただきましたが、この二年間

はコロナ禍でほとんど活動が出来ない中、今年度は二年間休んでいたコーランダーの活動を七月から始めることが出来ました。

毎月第二火曜日午後一時三十分から三時まで、色々な歌を歌ったり情報交換などしています。（会員は随時募集中です。ご参加お待ちしております！）また、十二月にはお楽しみ会を開催、ピアノ講師の有賀先生にお願ひしてミニコンサートも行いました。久しぶりの生の演奏を聴いて、皆とても感動しました。他にビンゴゲームなどで楽しみました。

これからも婦人部なりに出来る事を、感染に気を付けながら活動したいと思ひます。なお松本組仏婦、岡谷仏婦会も活動を始めました。「二日一日を笑顔で」をキーワードに！

## 会報組織委員会

委員長 白田 正夫

今年度も三回「敬念寺だより」を発行させていただきました。また、発行の都度、PDFにしてホームページにも掲載しています。

行事のご案内と実施状況を中心に編集していますが、コロナ禍が続く活動が制約されており、お伝えする内容が少ない紙面構成となりました。

新年度は、門信徒会活動が復活していくので、併せて紙面の充実に努めてまいりたいと思ひます。

# トピックス

## 「花まつり」(灌仏会)が当山本堂で開催されますー

岡谷市仏教会による「花まつり」が、当山が会所で開催されます。コロナ禍で延期されてきましたが、今年行うことになりました。当山や市内寺院のご門徒様が参拝されます。

日時 五月二十八日(日)

午後二時 法要及び法話

\*灌仏会かんぶつえ…お釈迦様の誕生日(四月八日)に行う仏教の行事。誕生仏に甘茶をそそぎお釈迦様の誕生を祝います。(今回は右の日程で行われます)



報恩講: 赤川浄友先生のご法話 4.11.13



菊花を境内に並べ参拝者をお迎え 4.11.13

# 令和四年度行事の記録



元旦会法要 5.1.1



婦人部ピアノ演奏会とお楽しみも 4.12.8

## 令和五年度 門信徒会年次総会開催の御案内

- 一日時 四月二十九日(土) 午後六時
- 一 場 所 敬念寺二階「本堂」
- 一 議 題 令和四年度事業報告・決算報告  
令和五年度事業・予算案承認の件  
役員選任(補充)の件

★年次総会終了後の懇親会は、今年もコロナ感染予防の観点から開催を見合わせますので、よろしくお願いいたします。  
代議員のお世話人の皆様には総会開催通知とともに、四月十日頃までに 封書でお知らせします。(返信ハガキ同封)